

◆府中校友会

第50回記念「府中T.M.(Tomon Mountain)登山会」

陣場山ハイキング

2日前までの雨との天気予報に誰もが今回の山行は中止と思っていたが、一転して小春日和を感

じさせる絶好の天気となる。05年11月5日午前8時50分、京王八王子駅改札集合。たっぶり50分を要して終点陣場高原下まで6名全員が座って行けたのはラッキーだった。舗装道路を延々と1時間少々歩くのが一般的なコースだが、途中から本田さんが調べてきてくれた新ハイキングコースへと入る。急登もあって結構息がされる所もあったが、舗装道路に比べ、杉林の間からもれる陽光を浴びながら小道を歩いて行くのは登山の実感が伝わる。

新井さんのザックが大きく膨らんでいるのでいったい何が入っているのか訝しく思っていたが、休憩の度にそこからガム、セリ、チョコレート、菓子パンなどが出てきて皆にも配られた。陣場山頂は紅葉を期待していたのだが、少し色づいている葉がちらほら見える程度で、中にはすでに枯れ落ちているものもあった。

陣場山の象徴となっている白馬像の前で記念写真を撮り昼食。一汗かいた後に、これまた新井さん持参のウイスキーを飲みながら山頂で食べる昼食は格別だった。十分に休息した後、陣谷温泉に向かって出発、高度差200メートル強を一気に駆け下りる感じで体重が膝に掛かるため、登りよりむしろ負担になる。麓の休憩所に無

人の農作物販売所があり自然湯、柿、きのこ、やぶきた茶などが並んでおり買いたい人も。

そのうちに私と竹居さんは他の人たちとはぐれてしまったが、ようやく3軒ある温泉宿の一番奥の「陣場の湯 姫谷」に辿り着く。ほどなく他の4名も到着して早速温泉に浸かった。露天風呂からは山の斜面の初冬の風情が見渡せ、疲れた体を癒してくれた。今回は「T.M.登山会」の記念すべき50回目の行事ということでも温泉に入って宴会をするという粋な計らいを幹事の本田さんが企画。大草さんも数日前にチベット、中国の旅から帰ったばかりながら宴会に参加、録音してきたチベットの住民が演奏する「胡の曲を聴き、山岳地方の写真を見せてもらいながら猪鍋、岩魚のお造りに舌鼓を打った。歩いた後の温泉とおいしい料理、酒のおかげで大いに盛り上がった。これからはこの2つの要素をできるだけ取り入れた楽しい企画を続けていきたい。

(小林春男記)